



板橋ともゆき 市政レポート

2010

Itabashi Tomoyuki Report

vol.21

日々の生活を豊かにするために必要な政策を



日本の経済は、物価の下落が続くデフレにあり、失業率も上がっている等、依然として厳しい状況にあります。また、揺れ動く国際情勢、アメリカとの安全保障問題、社会福祉制度等に対する国民の将来への不安は増大しています。

平成22年度一般会計予算は約92兆円で、その歳入内訳を見ると国債発行約44兆円、税収約37兆円、後の約11兆円がその他収入で計上されおり、国債等の負債合計が年度末には地方を含めると1000兆円になるとも言われています。

一方、歳出の内訳は、社会福祉費約27兆円、地方交付税約17兆円、公債費

約20兆円でこの三つで約7割を占めており、政府は後の僅か3割で公共事業等をまかなっている状況にあります。

消費税を含めた税の抜本改革をする事、国債発行を縮減する事、天下りの根絶を柱とする公務員改革をする事等、各政党のマニフェストの文字は躍っています。

このレポートが読まれる頃は、参議院選挙の結果が出ているはずですが、国民から信託を受けた政府には、この混沌とする社会情勢を克服し国民の生活を豊かにするために勇気をもって様々な政策を断行してもらいたいと願うところでもあります。

これだけ硬直化した厳しい時代であるからこそ、市民生活の最前線で市民と直接向き合っている地方自治体の果たす役割は非常に大切であり、自己決定・自己責任の原則のもとに政策推進できるように、権限と財源を備えた足腰の強い「地方政府」として確立する事が重要であると考えております。



出前市政報告会!

板橋ともゆきは、一人でも多くの市民の皆様にも市政の現状や課題をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「川口市政、市議会に言いたい事がある。」など、報告にとどまらず、ざっくばらんな市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡下さい。お待ちしております。



「がん検診推進事業」の成果

現在、本市では、隣接する東京都をはじめ市外から多くの人々を呼び込み、川口の活性化に繋げるため「ようこそ川口キャンペーン」に取り組みんでいます。



このキャンペーンは、本市の知名度・認知度の向上、市内経済の活性化、人と人との交流の促進、市内団体・機関の連携の強化、本市への愛着の醸成という5つの目標を掲げています。現在、市内の見どころや休憩ポイントなどを網羅したガイドマップの作成及び観光ツアーの企画をはじめ、キャンペーンロゴデザインの設定、インターネットを用いた情報提供基盤の構築、既存イベントとの連携によるキャンペーン推進計画の策定を進めているところです。

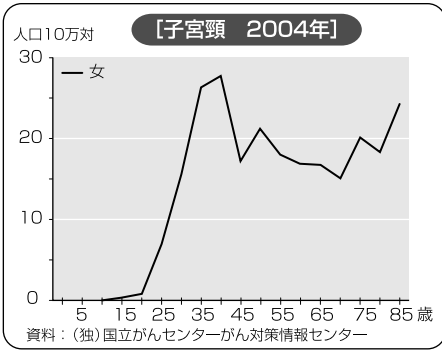
都市間競争が叫ばれる中で、今まさにシテイセールスの時代を迎えており、このキャンペーンを通して、誰もが気軽に本市を訪れ、楽しく交流していただけるよう、あらゆるメディアを活用し、本市の魅力を積極的に発信していく事になります。

女性特有のがん検診推進事業について

がんは我が国において、昭和56年から死亡原因の第1位であり、がんによる死亡者数は、今年年間30万人を超える状況となっています。

がんによる死亡者数を減少させるためには、がん検診の受診率を向上させ、早期発見することが極めて重要であり、広報活動も進められていくとされています。残念ながらも、女性特有のがんである子宮頸がん、乳がんについては、未だ検診受診率が低い状況にあります。

このような中、国では昨年度、経済危機対策の一環として、全額国の負担により「女性特有のがん検診推進事業」を初めて実施し、これに伴い、本市でも昨年7月から、通常の



市民意識調査の結果について

本市では、定期的に市民意識調査を実施しており、平成21年度は、昨年12月に、これまで同様18歳以上の市民5千人を対象に実施されました。

この調査は、市民の皆さんの今後の居住意向、本市の施策に対する評価などについて回答をいただくものであり、この度の調査結果により、居住意向につきましては、全体として、本市に住み続けたいとする市民の割合が83.2%、本市に住み続けたくないとする割合が10.3%であった。一方、新郷地区については住み続けたいとする市民の割合が78.1%、市内9地区の中で最も低く、住み続けたくないとする割合が12.4%とこれは最も高い数字が出ていた事を私はしっかりと受け止めなければならぬと思っています。

また、本市の良いところ、好きなところをお尋ねする設問に対しては、「都心に出やすい」「買い物など日常生活が便利である」との回答が多かった一方で、良くないところ、嫌いなところについては、「治安が悪い」「医療サービスが不十分である」とする回答が多く寄せられました。さらに、本市が取り組んでいる施



がん検診に加えて本事業を推進して参りました。この度、国において、本年度も事業が継続されることとなりましたが、補助率が2分の1となったことから、残りの2分の1を市が負担し、事業を実施していく事となりました。

し、子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券と検診手帳を送付することにより受診促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図るものです。対象者の方々には市からのお知らせが届きますのでお待ち下さい。

産業の振興に関する検討会議の設置について

本市の産業界を取り巻く現状は、経済のグローバル化が進む中で、都市化の進展、さらには市民のライフスタイルやニーズの多様化等の影響から、あらゆる業態の操業環境、営業環境が様変わりしており、加えて、長引く景気低迷や世界的な金融危機の影響も重なり、押し並べて厳しい状況にあります。このような中、ものづくりの都市である

【居住意向（地区別）】

	住みつけたい	住みつけたくない	無回答
全体 (N=1,607)	83.2	10.3	6.5
中央地区 (N=136)	80.1	10.3	9.6
横曽根地区 (N=183)	84.7	9.3	6.0
青木地区 (N=229)	82.1	11.4	6.6
南平地区 (N=190)	△ 88.9	6.8	4.2
新郷地区 (N=105)	▼ 78.1	12.4	9.5
神根地区 (N=127)	86.6	9.4	3.9
芝地区 (N=238)	81.5	12.2	6.3
安行地区 (N=94)	84.0	9.6	6.4
戸塚地区 (N=187)	87.2	8.6	4.3

※△は全体値よりも+5%~10%高い事を示しています。 ※▼は全体値よりも-5%~10%低い事を示しています。 ※図中のNは、回答数を示しています。

策に対する評価では、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「文化芸術の振興」、「安全・安心で安定した水道水の供給」等において高い満足度が示された一方で、今後さらに充実を図るべき施策としては、「児童の健全育成と子育て支援の充実」、「総合的な交通体系の確立」、「勤労者の雇用と福祉の推進」等の回答が高い割合を示したところがあります。市民の皆さんが、日頃から市政に対してどのように思われているのか、本市行政に対する率直な評価を把握することは、市政を執行していくうえで欠かすことのできないものであり、市民意識調査は、市民の市政に対する満足度を窺い知る重要な手段であります。



本市のさらなる発展には、その原動力となる中小企業の活性化は欠かせないものであり、これを守り、振興することを通じて市民生活の維持向上に寄与すべく、去る3月市議会において、議員提案による「川口市中小企業振興条例」が制定されたところであります。

そこで本市は、事業者、産業界、行政及び市民が、本市産業の歴史と現状への深い理解のうえに、改めて産業振興の重要性を認識し、それぞれの役割と責務を果たすとともに、相互の連携をこれまで以上に強固なものとしていくことが不可欠であると考へ「川口市中小企業振興条例」を踏まえた産業振興のための指針の策定に向けて、工業、商業、農業等の事業者をはじめ、産業界団体関係者、さらには知識経験者や市民等から幅広く参加をいただき、産業の振興に関する検討会議を設置する事となりました。



「川口市中小企業振興条例」制定に向けた記者会見の様子

twitter (ツイッター)
始めました!

http://twitter.com/itabashi_tomo



板橋ともゆき プロフィール



昭和36年11月4日 東本郷生まれ
血液型：B型 中央工卒
資格：宅建 2級建築士
不動産コンサルティング技能登録者
ファイナンシャルプランナー (AFP)
平成15年市議初当選 (3194票)
平成19年市議2期目当選 (3918票)

市議員に出来る事は何なりとご相談ください!



板橋ともゆき事務所

〒334-0061 川口市新堀 8 4 1 番地

TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644

e-mail itaba-fp@sainet.or.jp

携帯でサイトへ!

各社のバーコード対応機種で
ご利用出来ます。



ご意見・ご要望を下さい!

市政全般について、板橋ともゆきについて等、どんなことでもかまいません。
ざっくばらんなご意見・ご要望をお待ちしています!

F A X

送信用紙 048-285-9644

◆ご意見を記入して下さい。

Blank lines for writing comments and requests.

フリガナ
お名前

住所 〒

電話番号

FAX 048-285-9644